

Lobmeyr

ロブマイヤー

最高の光の輝きを演出する熟練のガラス工房



高い芸術性と優れた品質を兼ね備えたシャンデリア

一八二三年にガラス細工職人、ヨーゼフ・ロブマイヤーがウィーンに小さなガラス店をオープンしたのが始まり。一八八二年に電球を使用した世界で初めてのシャンデリアを製作、現在「ロブマイヤー」のシャンデリアは世界の宮殿やオペラハウスなど著名な建築で使われている。ホーフブルク宮殿をはじめとするウィーンの王宮や、ニューヨークのメトロポリタン歌劇場の有名なシャンデリア、ウィーン楽友協会ホールの豪華なシャンデリアも、この最高級ガラス工房で作られている。

創業以来、素晴らしい造形による高い芸術性と質の高さが知られるところとなり、ハプスブルク家から皇室御用達の称号を受け賜る。高度な技術は現在も職人に受け継がれており、工房を尋ねると、シャンデリアのパーツを特殊な針金で結びつける作業や真鍮部分の加工、ガラスのカッティングなどが行なわれていた。老舗に伝わる伝統的な手法が使われており、丁寧なハンドメイドは安らぎに満ちた暖かな光の輝きを生み出す。

「ロブマイヤー」の共同経営責任者、レオニード・ラート氏は創業当時の伝承を守りながら、

ガラスの魅力を伝えている。

世界各国の要人の晩餐会でも使われる「ロブマイヤー」のワイングラスは、シャンデリアと同じく強度を持ち割れにくく、デザイン性を誇り、さらに薄くて軽い。鉛を含まない特殊な配合比の「カリ・クリスタル」と呼ばれるガラス素材を用いているため、透き通った美しさを持つ。ロブマイヤーのグラスは美術館にも收藏されている。ロブマイヤーは世紀末ウィーンに活躍したヨーゼフ・ホフマンやアドルフ・ロースなどの偉大な芸術家と親交を持っていた。デザインされた傑作の数々がいまもグラスシリーズとして残っている。店舗の三階には歴史的なコレクションを展示する資料室もある。



LOBMEYER

Kärntner Straße 25, 1010 Wien | www.lobmeyr.at



工房の様子

店前にある
創始者ヨーゼフ・ロブマイヤーの像



軽くて壊れにくいワイングラス



共同経営責任者のレオニード・ラート氏



手作業のカットが生み出す光の美



工房をサポートしてくれた
共同経営責任者のヨハネス・ラート氏



パーツを
結びつける技術が必要